

生涯学習「西柴」 40周年記念コンサート

日本有数のジャズバイオリニスト
西柴出身の里見紀子氏率いるトリオ
《ラ・パシオン》を迎えて

演奏者 プロフィール (全文掲載版)



バイオリン
里見紀子

金沢区西柴出身。東京藝術大学卒業。

芸大在学中よりプロオーケストラ、劇団四季のオーケストラピット、テレビの音楽番組等で活躍するが、

“このまま人が書いた曲だけを弾いて死ぬのか・・・

そんなのは嫌だ、自分にしかできない音楽がどこかにあるはず”と思っていた頃、ジャズと出会う。

その後独学でジャズを勉強、追求し続け、2019年にリリースしたCD「至上の愛」でジャズジャパンアワード高音質ソフト賞を受賞。今年9月にクラシックをジャズアレンジしたアルバム「シェエラザード」をリリース。

<https://project-nori.wixsite.com/mysite>



ピアノ 井上ゆかり

大阪芸術大学演奏学科ピアノコースに特待生として入学。同大学卒業後上京し、アン・ミュージック・スクールにて、ジャズピアノを鈴木“コルゲン”宏昌氏に師事。在学中よりジャズピアニストとして演奏活動を開始し、ライブスポットを中心に出演を重ね、数多くのミュージシャンと共演。ジャズライブを中心に、年間約250本の演奏活動中。

またジャズ以外の音楽活動も幅広く、2000年より始まったNHK-BSの音楽番組「素晴らしき音楽仲間」にレギュラーピアニストとして出演。2006年までの6年間、前田憲男、羽田健太郎、加藤登紀子、北村英治、岩崎宏美、都はるみなど、延べ300組の多彩なゲストとジャンルの枠を超えて共演。

2003年、オリジナル曲中心のファーストアルバム「Pianin」をリリース。

2006年、ベースの加藤真一・ドラムスの藤井摂とともに、自身初のピアノトリオ<井上ゆかりトリオ>を結成。

2007年、メジャーデビューアルバム「Hands On Universe」をリリース。

2007年からはピアノソロでのコンサートも開始。

2009年4月、DVD映像作品「不朽神話2」へオリジナルの楽曲を提供。

同年 7月、「不朽神話2」サウンドトラック版の「One life, One Way」をリリース。

2009年9月、ボーカル村瀬由衣の「Day By Day」をサウンドプロデュース。

2010年12月、<井上ゆかりトリオ>のセカンドアルバム「MURASAKI」をリリース。

2012年10月、初のピアノソロアルバム「SAKURA」をリリース。

2015年10月、ボーカルUの「Elegant Jazz」をサウンドプロデュース

2016年4月、ギター竹中俊二とのデュオアルバム「MOEGI」をリリース。

2020年7月、フルート井上信平とのデュオアルバム「LIFE~in the name of love」をリリース。

2025年10月25日、22回目となるソロコンサートを開催予定。

<https://www.inoueyukari.com/profile/>より転載しました。



ギター 高木潤一

9歳でギターを始め15歳の時にジャズギターを始める。17歳よりプロとしてクラブ、ライブハウスなどで活躍する。1986年渡米。名ピアニスト、バリー・ハリスに師事する傍ら、ロン・カーター、マル・ウォルドロン等とセッションを重ねる。

帰国後はフラメンコギターを坂中浩治氏に師事する一方で、ジャズ、クラシック、世界中の民族音楽のエッセンスを盛り込んだギター、ヴァイオリン、タブラ他の編成

によるMASARA(マサラ)を結成。近年、CMや映画音楽も手がける。

2006年には、スペインに渡り10ヶ月間の遊楽で研鑽を積む。東京を中心として日本各地のライブハウス、イベント等でライブ活動を展開中。

リーダーバンドのMASARA(ギター高木潤一、ヴァイオリン太田恵資、タブラ吉見征樹)は、2024年に14年ぶりとなるアルバム「Kashino Khan(カシノカーン)」と、ツアー(2022年)を収録したライブDVD「Too Late to Turn Back!!」を同時リリース。そして2025年6月で結成35周年を迎えた。

<https://sites.google.com/view/junichitakagi/profile/>より転載しました。